



人口構造の変化と日本、福井県の課題

2010年1月7日

東京大学政策ビジョン研究センター

森田朗

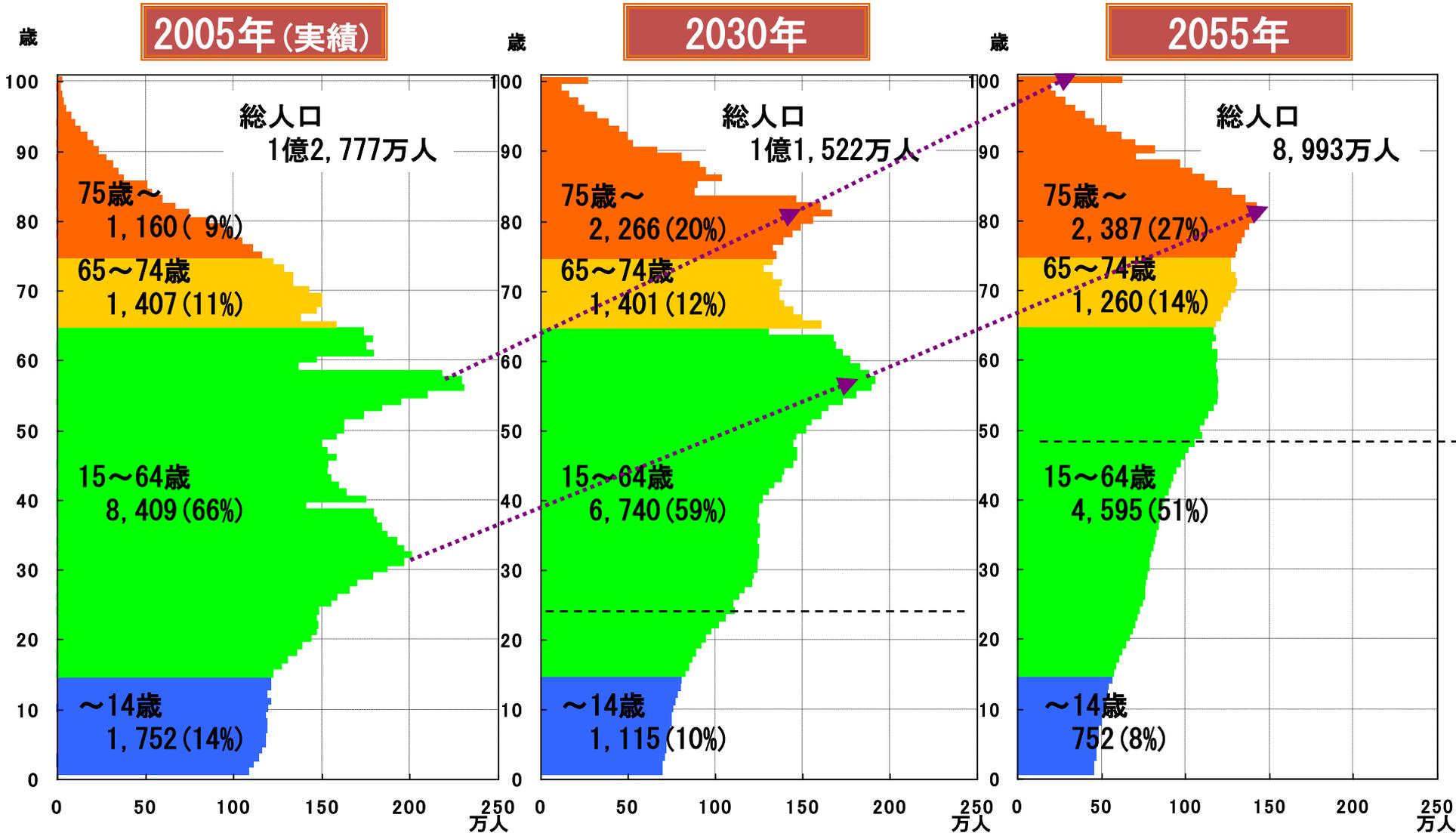
今日のテーマ

1. 高齢化の現実
2. 高齢者標準の社会
3. 医療・介護政策

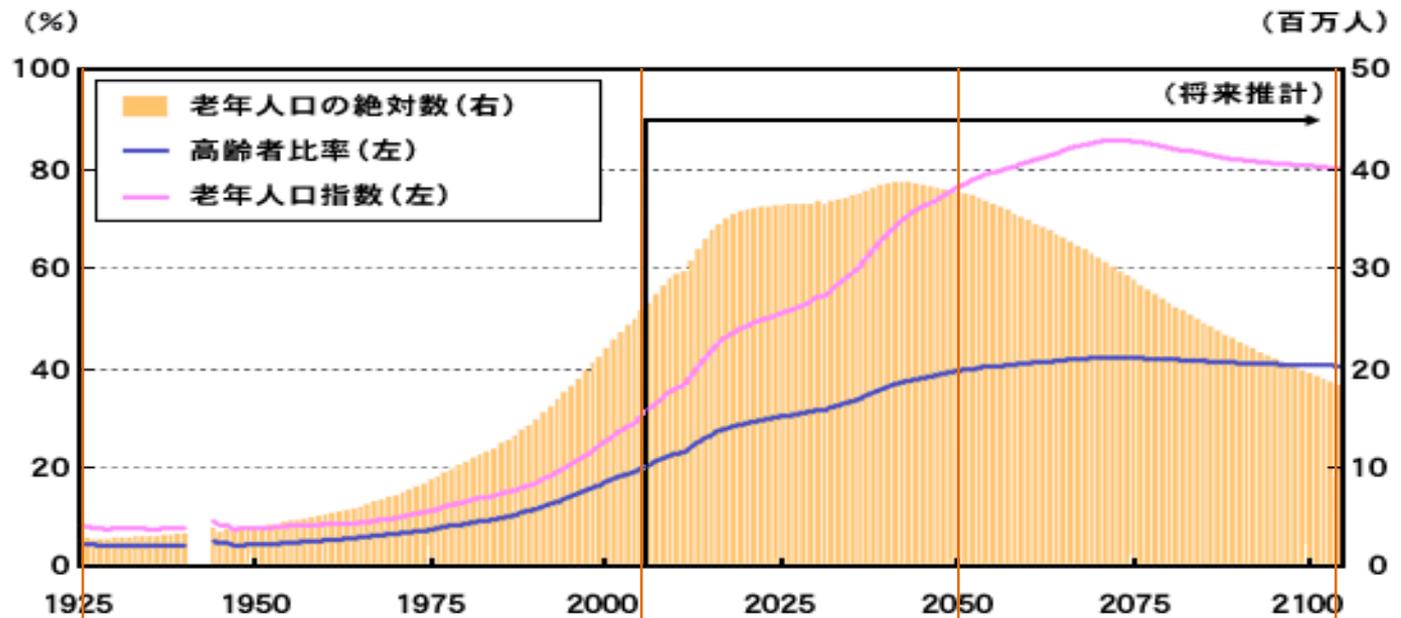
1. 高齢化の現実(1)

- 高齢化の傾向——二つの山
- 最大の課題——都市部の高齢化
- 高齢者の生活
 - 心身——医療・介護
 - 生活——衣食住・家計・家族
 - コミュニティ——単身／老夫婦世帯・限界集落

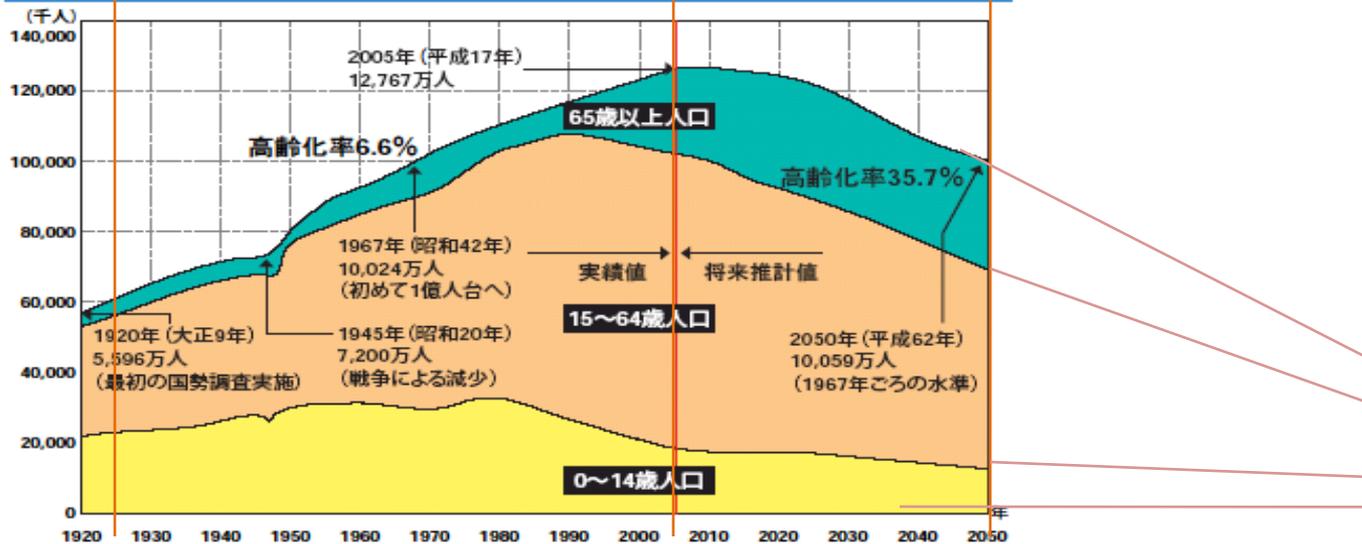
日本の高齢化



注：2005年は国勢調査結果。総人口には年齢不詳人口を含むため、年齢階級別人口の合計と一致しない。

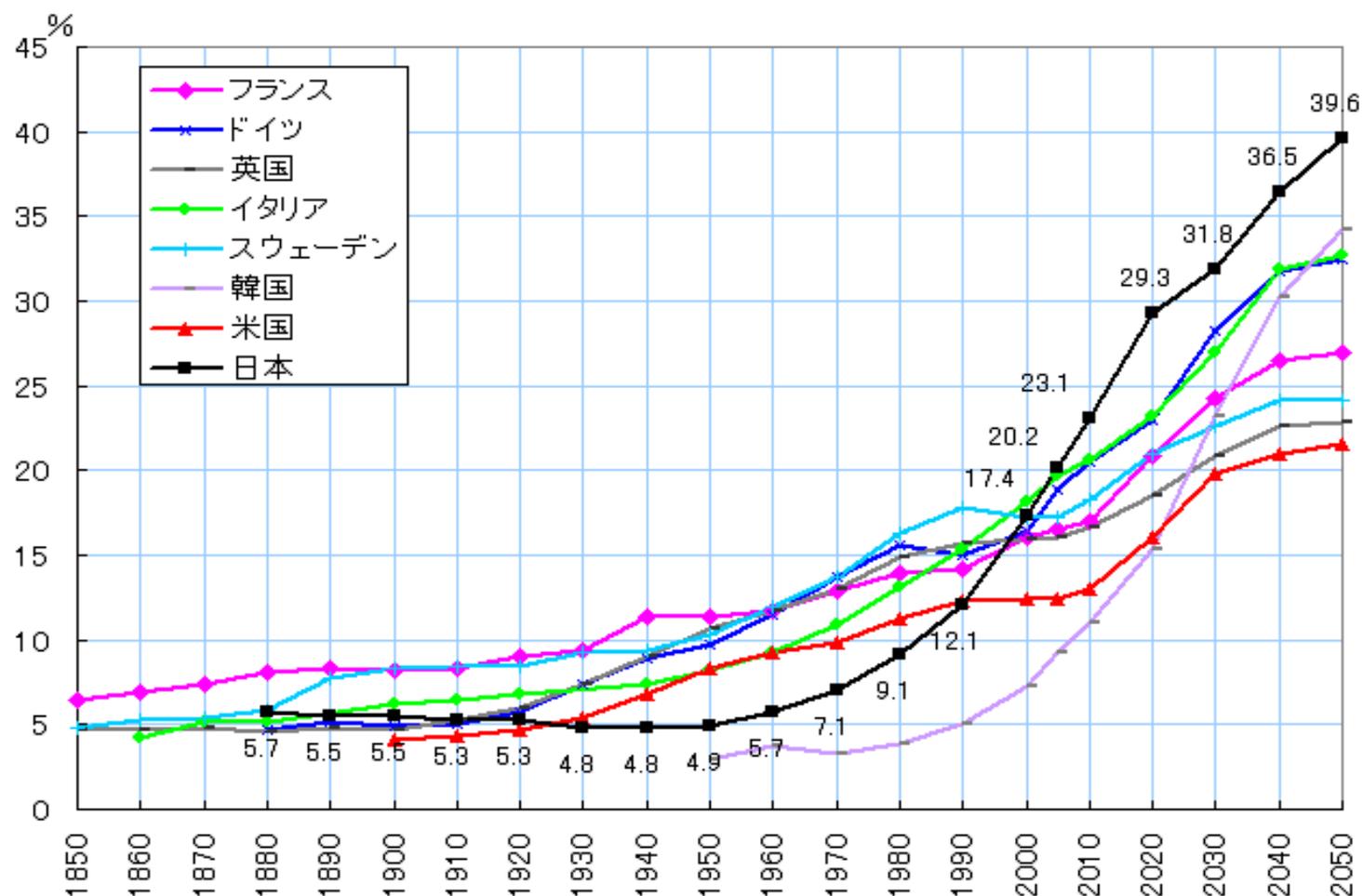


人口減少社会の到来



資料:2003年までは総務省統計局「国勢調査」、「10月1日現在推計人口」、2004年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)」
注:1941~1943年は1940年と44年の年齢3区分別人口を中間補間した。1946~71年は沖縄県を含まない。

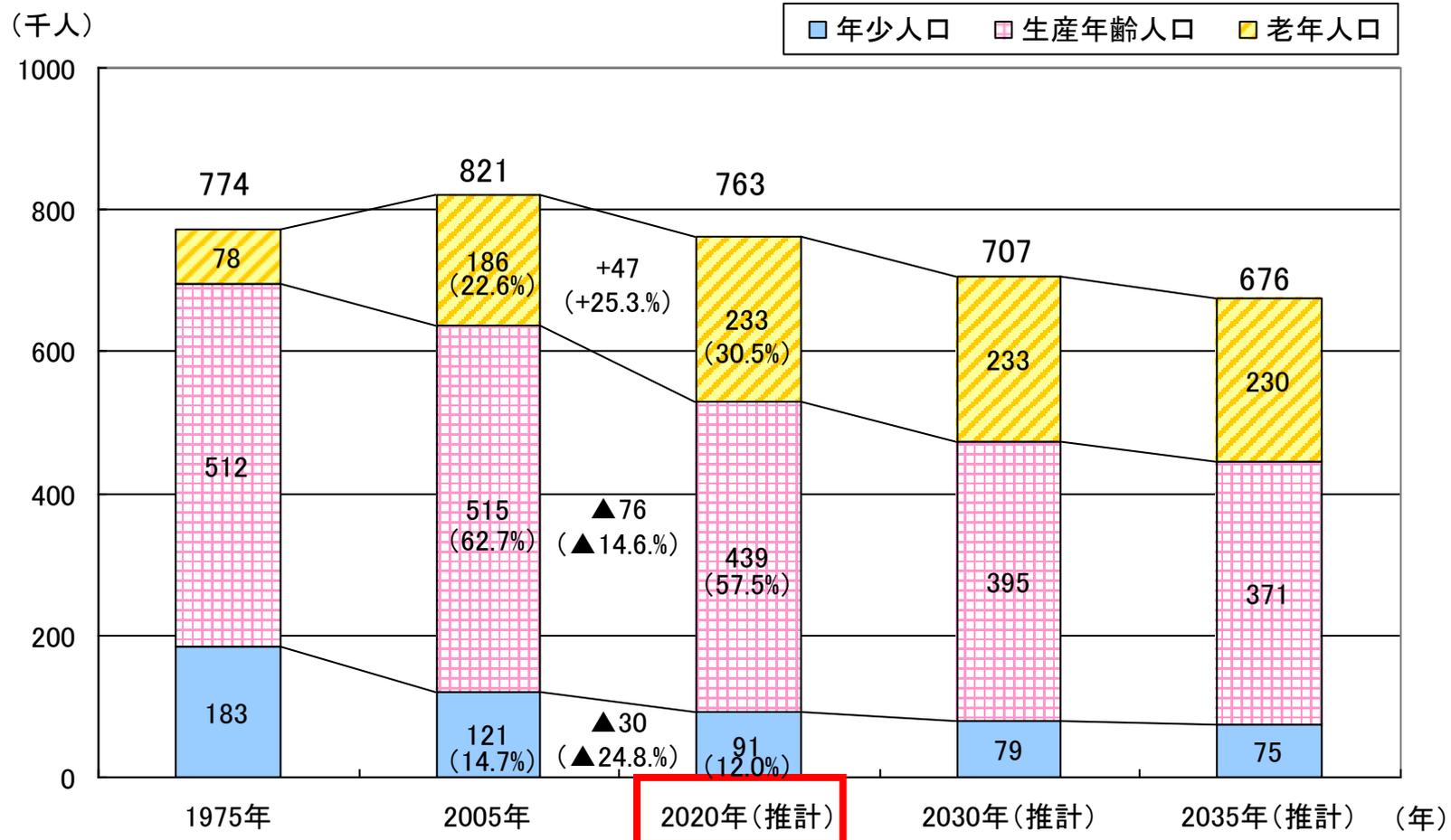
主要国における人口高齢化率の長期推移・将来推計



(注) 65歳以上人口比率。1940年以前は国により年次に前後あり。ドイツは全ドイツ。
 日本は1950年以降国調ベース（2005年迄は実績値）。諸外国は国連資料による。
 日本推計は「日本の将来推計人口（平成18年12月推計、出生中位（死亡中位）推計値）」
 (資料) 国立社会保障・人口問題研究所「人口資料集2009」、国連”2008年改訂国連推計”

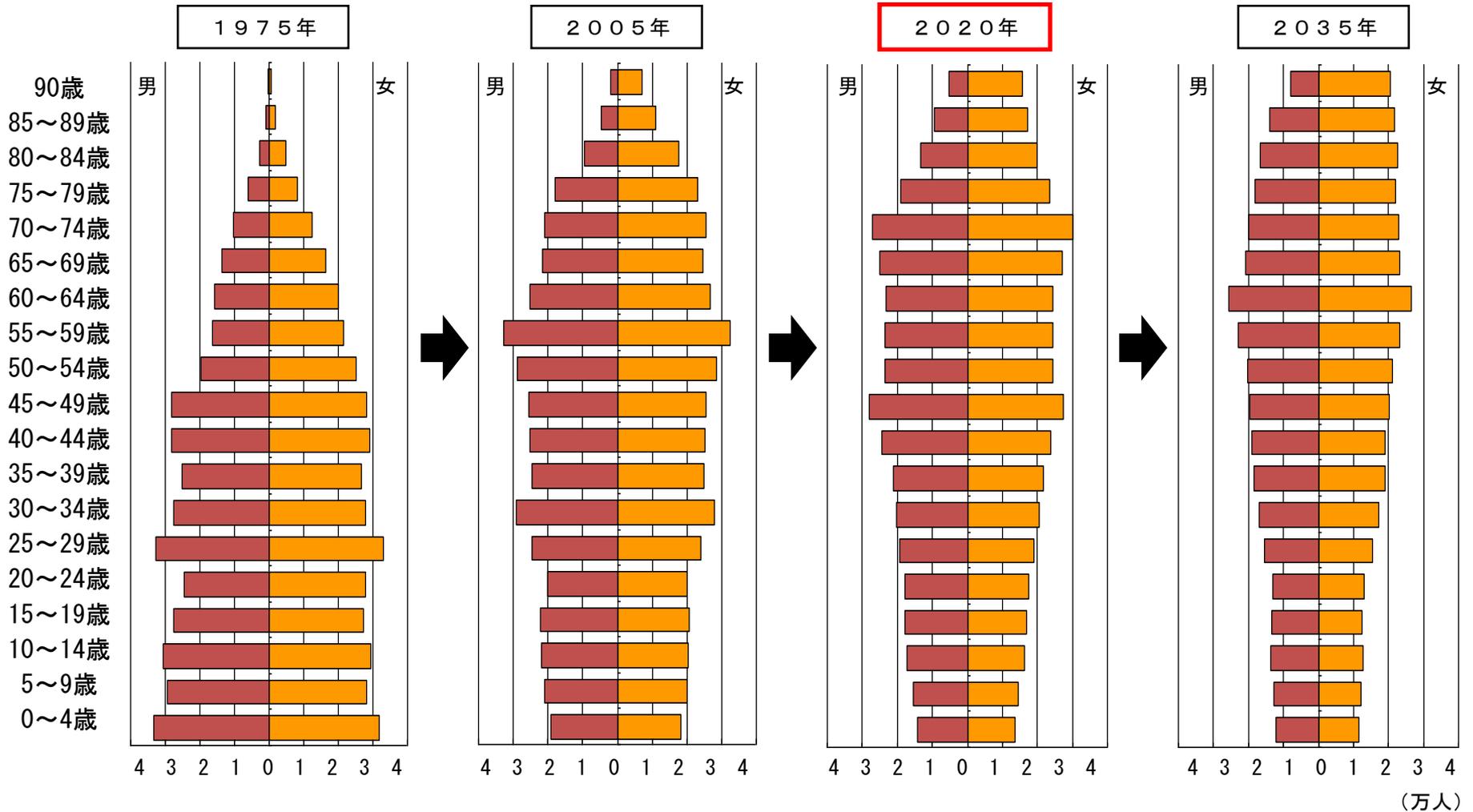
福井県の年齢別人口構成比

年少人口は、2020年には9万1千人と2005年に比べ3万人（24.8%）減少。
 65歳以上の老年人口は、2020年には23万3千人と4万7千人（25.3%）増加。約3人に1人が高齢者となる。
 さらに、生産年齢人口は、7万6千人（14.6%）減少。



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「『日本の都道府県別将来推計人口』（平成19年5月推計）」

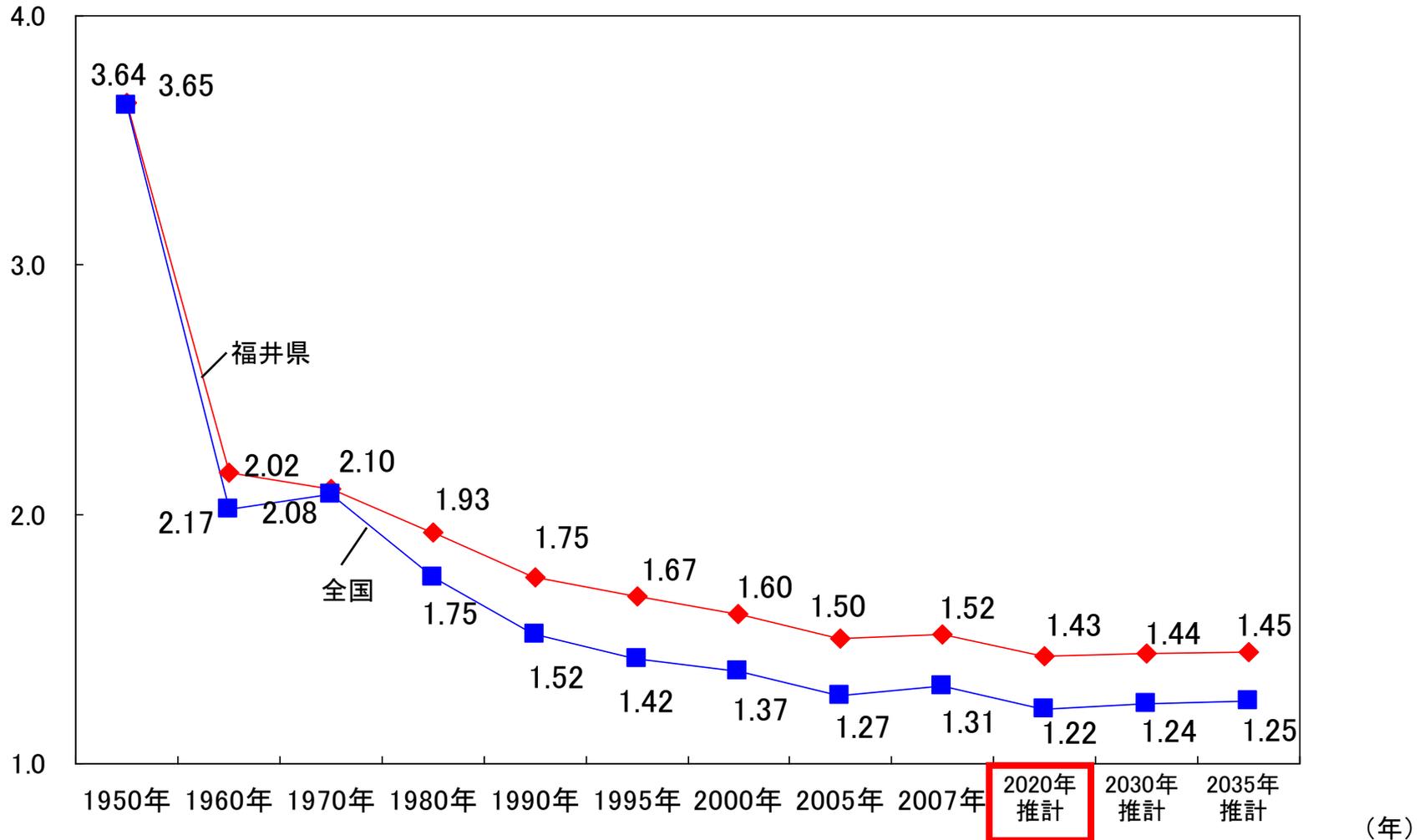
福井県の人口ピラミッドの推移



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口」

合計特殊出生率の推移と将来推計

福井県の合計特殊出生率（1人の女性が一生の間に生む子どもの数）は、全国平均より高い水準で推移しているものの、低下傾向にある。

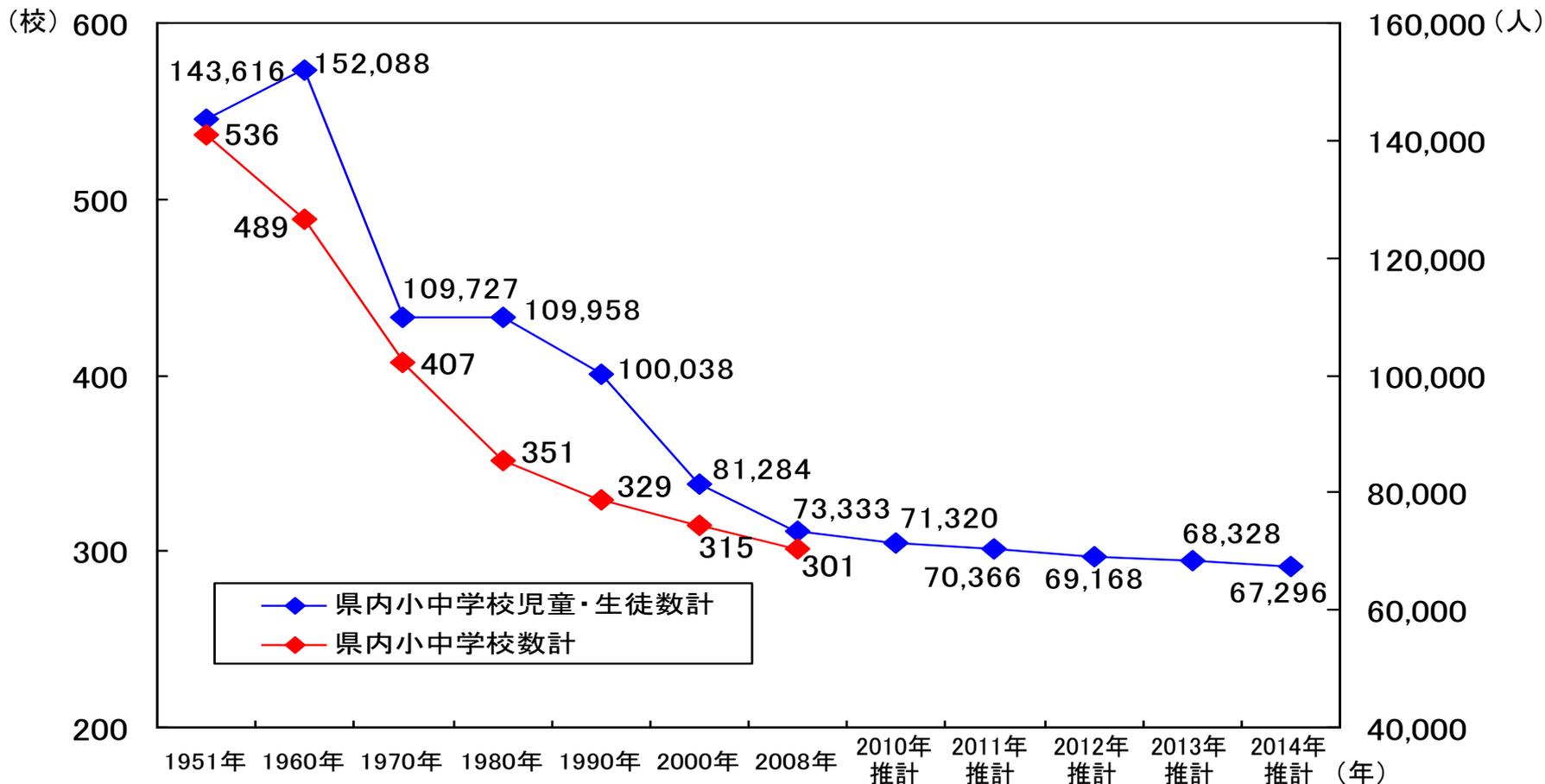


出典：国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別合計特殊出生率」、「将来の合計特殊出生率」

(年)

県内小中学校数および児童・生徒数の推移と将来推計

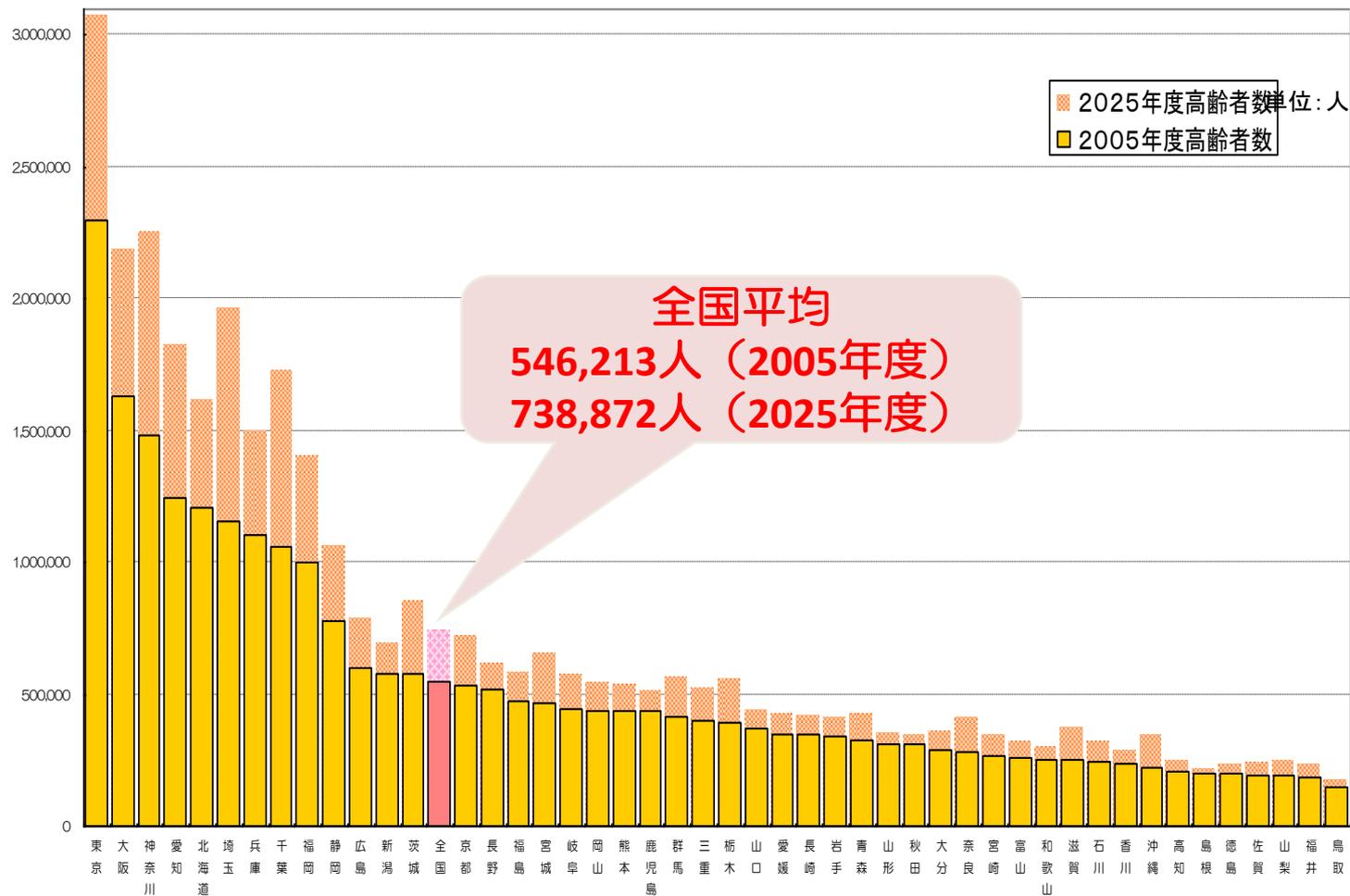
福井県内の小中学校数は、小中学校の児童・生徒数の減少とともに、減少傾向にある。今後も小中学校の統廃合が進み、学校を中心とした地域行事等も減少していく恐れがある。



出典：文部科学省「学校基本調査」、福井県教育政策課資料

1. 高齢化の現実(2)

- 高齢化の傾向——二つの山
- 最大の課題——都市部の高齢化
- 高齢者の生活
 - 心身——医療・介護
 - 生活——衣食住・家計・家族
 - コミュニティ——単身／老夫婦世帯・限界集落



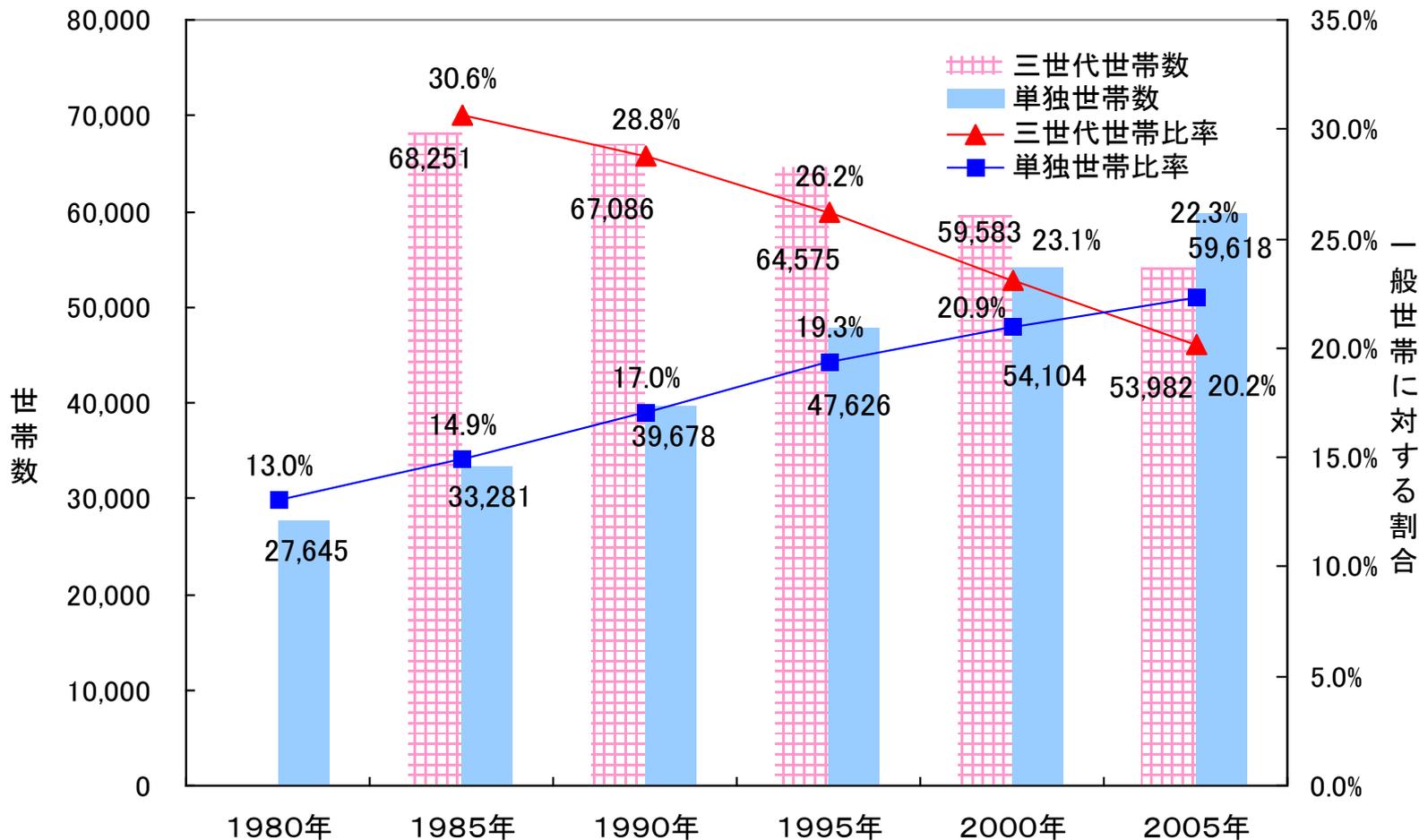
【資料】2005年の高齢者人口については、総務省統計局「平成17年国勢調査第1次基本集計（確定値）」
 2025年の高齢者人口については、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口（平成14年3月推計）」

1. 高齢化の現実(3)

- 高齢化の傾向——二つの山
- 最大の課題——都市部の高齢化
- 高齢者の生活
 - 心身——医療・介護
 - 生活——衣食住・家計・家族
 - コミュニティ——单身／老夫婦世帯・限界集落

福井県の三世代世帯数と単独世帯数の推移

福井県の三世代世帯比率は、全国的に見れば高いものの年々減少。単独世帯が急速に増加。



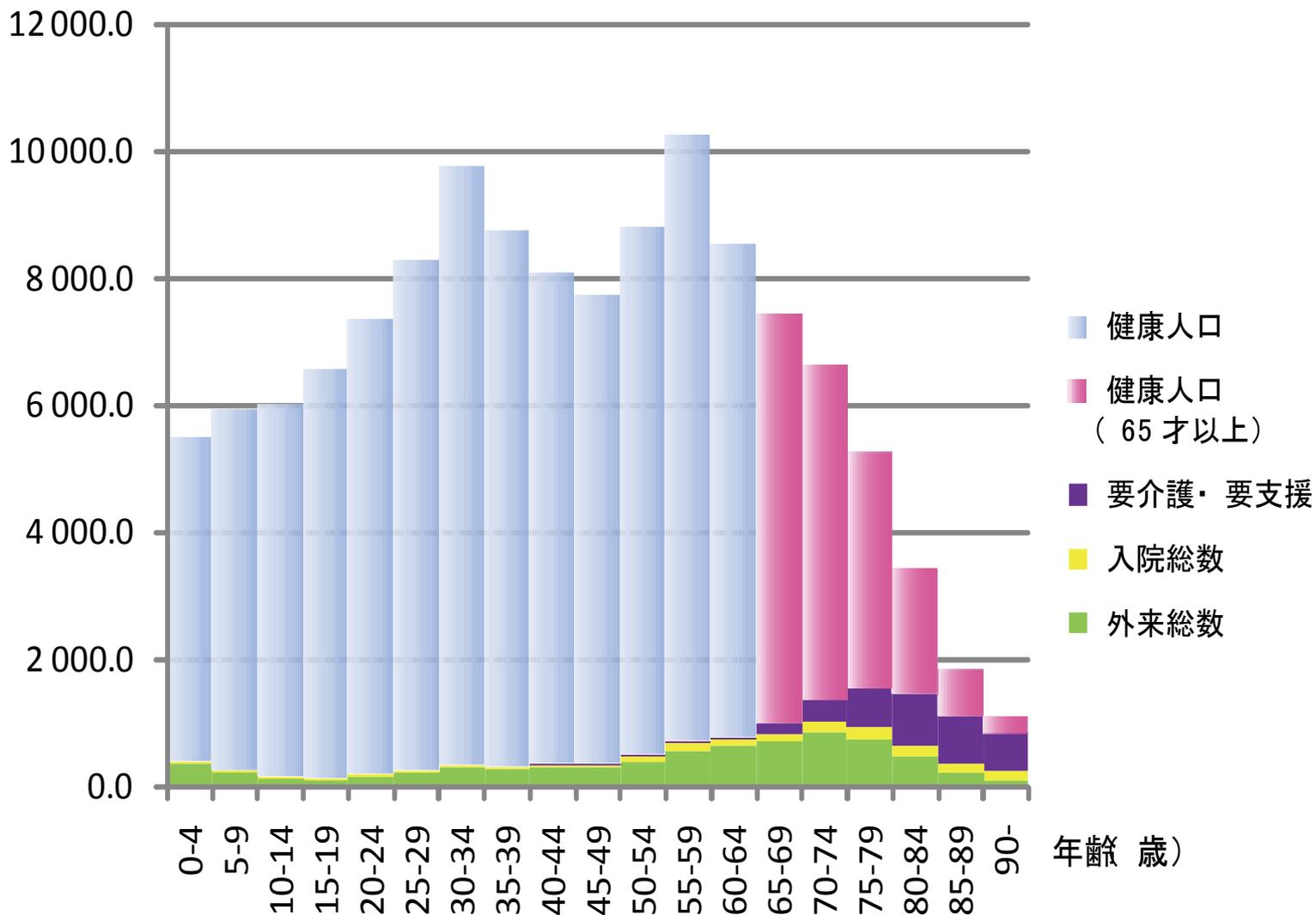
出典：総務省「国勢調査」

2. 高齢者標準の社会(1)

- 発想の転換——元気な高齢者
- コミュニティの維持再生
- 技術革新による対応
 - ソフト(社会技術)政策——市民後見制度・住宅管理
 - ハード技術の開発——交通・IT
- ビジネス・モデル

年齢階層別 医療・介護・健康人口

人数 (千人)

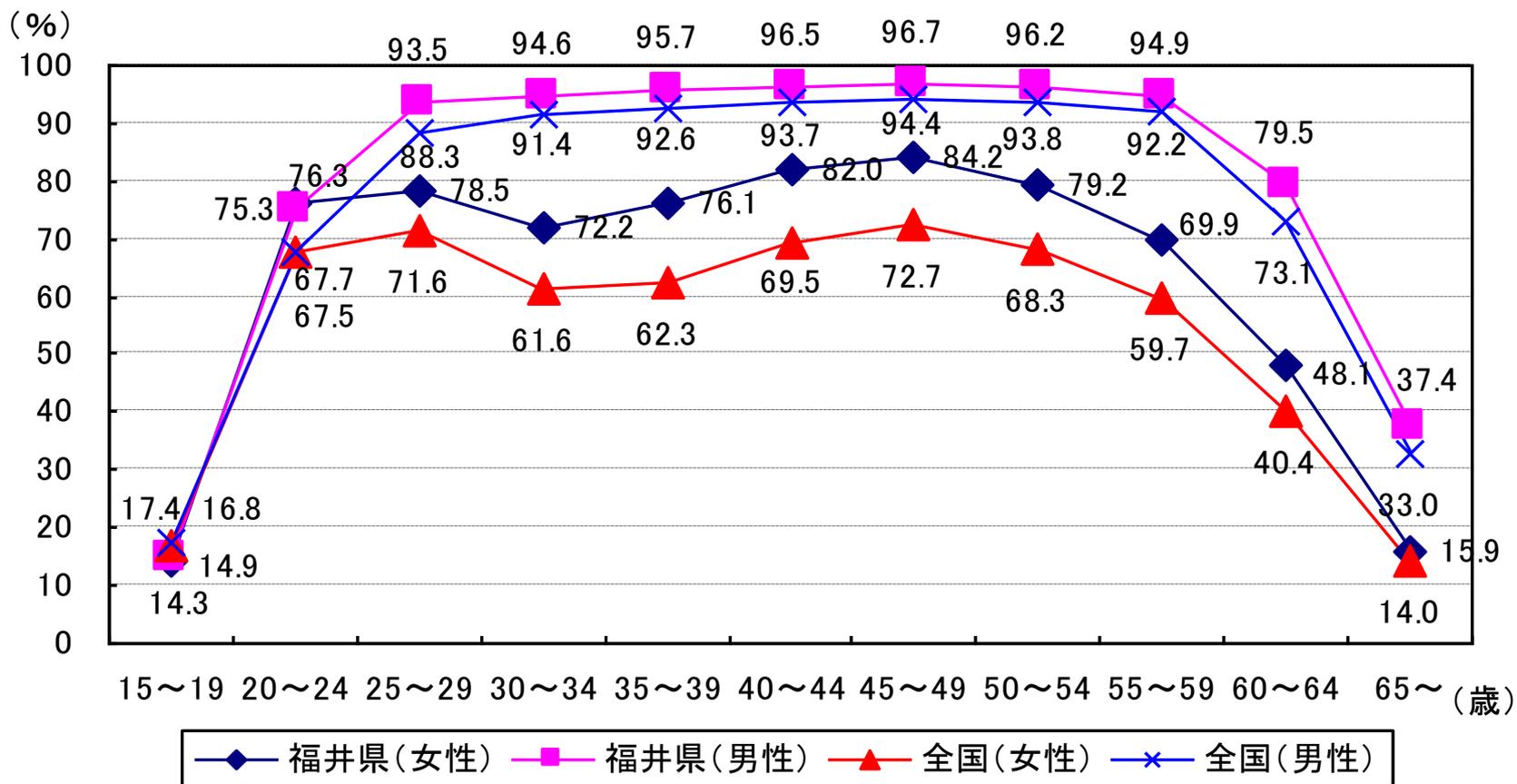


2. 高齢者標準の社会(2)

- 発想の転換——元気な高齢者
- コミュニティの維持再生
- 技術革新による対応
 - ソフト(社会技術)政策——市民後見制度・住宅管理
 - ハード技術の開発——交通・IT
- ビジネス・モデル

福井県および全国の年齢別労働力率

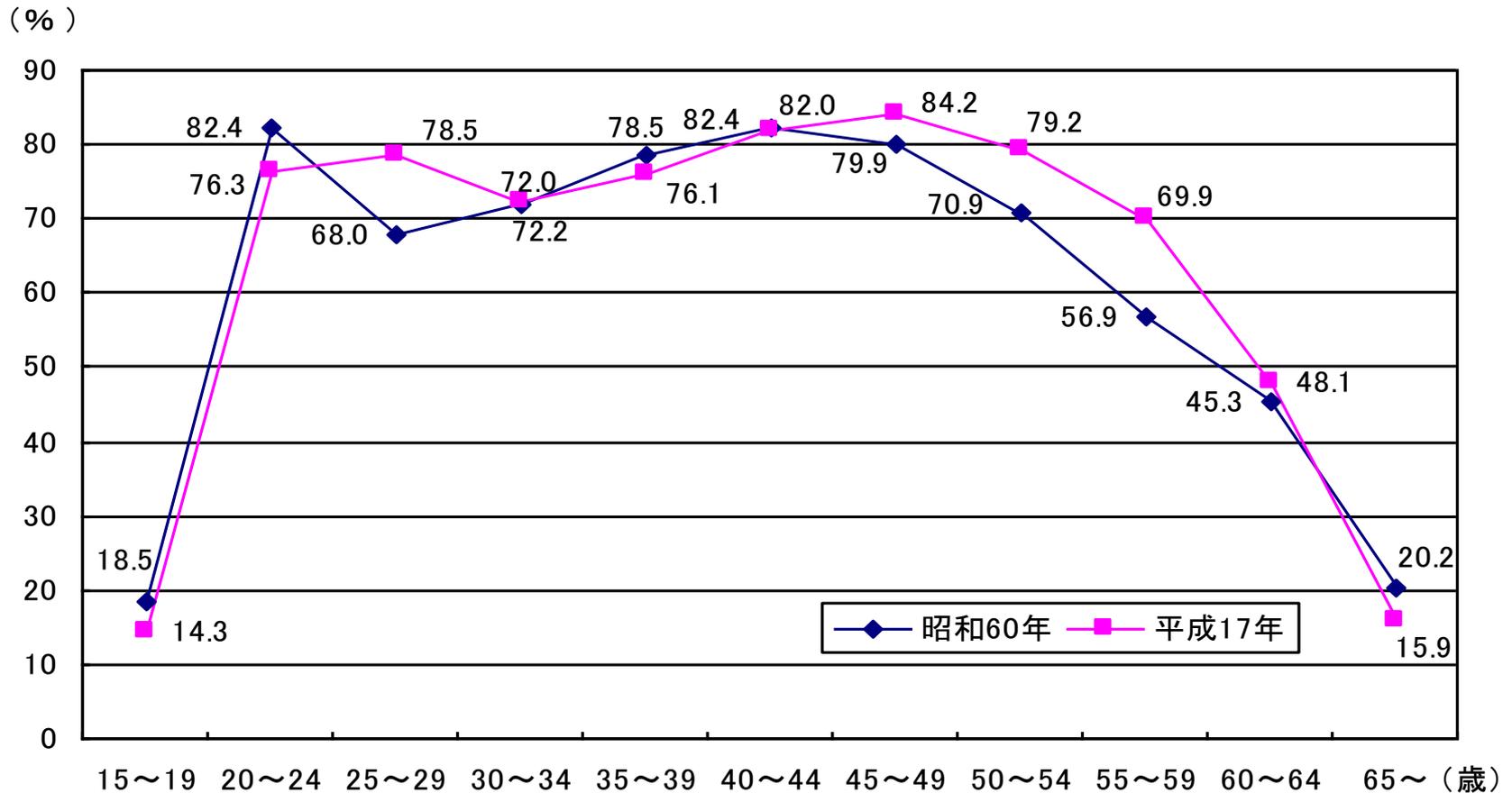
日本の女性の労働力率は、子育て期の30～34歳で一時的に減少。福井県の場合、労働力率の減少は、全国に比べて緩やかである。



出典：総務省「平成17年国勢調査」

福井県の女性の年齢別労働力率

晩婚化、晩産化などの要因により、福井の女性の労働力率の減少期および上昇期の年齢が高くなっている。



出典：総務省「国勢調査」

2. 高齢者標準の社会(3)

- 発想の転換——元気な高齢者
- コミュニティの維持再生
- 技術革新による対応
 - ソフト(社会技術)政策——市民後見制度・住宅管理
 - ハード技術の開発——交通・IT
- ビジネス・モデル

3. 医療・介護

- 医療崩壊？ 財政破綻？
- 医療制度改革の必要——資源の効率的利用
- 医療のIT化——情報資源の活用
- 医療介護の連携とコミュニティ

終

The End

ご静聴ありがとうございました

Thank you!